

2011 年

6 月 23 日（木曜日） 絆を育む - 「社会を明るくする運動」京丹後市推進委員会 -

本日、第 61 回「社会を明るくする運動」京丹後市推進委員会が開催されました。この運動は、ご案内のように、犯罪をなくし社会を明るくしていこうと、犯罪の防止と更生保護についてすべての国民が理解を深めこれらの活動への協力がすすむようよびかける全国的な運動であり、本市においても、長らく「更正保護大会」として取り組まれ、平成 18 年度からは「きょうたんご市民のつどい」と改められて運動を推進してきています。

東日本大震災では、被災された方々の悲しみやご苦勞を思いますときに、言葉に絶し、心からのお見舞いと哀悼の誠を捧げるものです。非常に多数の被災された方々が避難所などで寄り添い助け合ってお暮らしされているお姿を拝受し、改めて私たちにとっても日頃から大切なことだなと感じますのは、地域のコミュニティの重要性や地域の人と人との絆であります。

京丹後市では、「一人ひとりをかけがえのないものとして、支えあい、助けあい、与えあう、ともに生きる共生のまちづくり」をまちづくりの大きな柱に掲げていますが、この想いは裏返せばそのまま、“様々な人と人との絆を大切に育んでいく”ということであり、いずれの行政分野においてもこのことの大切さを痛感しています。

今年も、7 月の社会を明るくする運動の強調月間が近づいてきましたが、この運動も、日頃からの人と人の絆を深めていく姿勢や活動が社会的環境のあり方として根本的に求められる運動であります。強調月間を通じた各種の啓発や事業の大切さはいうまでもありませんし、関係者の皆様のご尽力に心から敬意を申し上げますが、それと同時に改めてこの機会に、常日頃から、あらゆる人を尊び、活かしあい、支えあい、助けあう、与えあう、そんな人と人とのかけがえのない絆を大切にする、育んでいくまちづくりを、住民の皆さんと紡ぎあげていきたいと思えます。